

明日に向かつて

ともに創る

90

大船渡市長 戸田公明

災害は時を選ばず、場所を選ばず

豪雨災害多発の季節真っ最中です。今月は、自然災害への対応・心構えなどについて述べます。

本市では、日本赤十字社と連携しながら、災害時の義援金募集を行っています。

平成30年は、近年になく募金が多い年であり、西日本豪雨、米原竜巻、大阪北部地震、北海道胆振東部地震、ロンボク島地震津波、スラウエシ島地震津波での募金活動を行いました。

これ以外にも、台風20号・21号なども大きな災害をもたらすなど、ここ数年、災害が増加しています。

最近ニュースで報じられましたが、東京都江東区では、河川が氾濫したら、区民は江東区から避難するよう異例の呼び掛けがありましたし、また豪雨では、鹿児島市と周辺自治体では全住民に避難勧告を発令しました。

まさに「災害は時を選ばず、場所を選ばず」です。

同様に本市にも地震・津波、河川氾濫、土砂災害などのリスクがありますので、それらを知り「いざい」という場合に備えておくことが必要です。

■地震・津波

8年余り前に、史上最大クラスの地震と津波を経験し、以来今日まで防災復興まちづくりに努めてきましたが、併せてこの経験と教訓を将来世代にしっかりと伝承しなければなりません。

■河川氾濫

ここ数年の国内各地での豪雨発生状況を踏まえ、本市でも発生しうるものと想定し、対応策を講じておく必要があります。

本年度、県管理河川である盛川について、県により、豪雨による洪水浸水想定シミュレーションが行われます。その結果を住民の皆様と共に

有しながら、ハザードマップ作成のワークショップなどを通じ、安全安心なまちづくりのため、さまざまな対応策を検討してまいりたいと考えています。

■土砂災害

市内に土砂災害危険箇所が940カ所あります。そのうち、人家などが含まれる危険箇所は838カ所あります。

市は、今日まで岩手県に協力(20%負担)しながら、危険箇所の斜面補強工事などを行ってまいりましたが、未対策箇所も多く残されています。今後につまましては、引き続き国のがけ地近接等危険住宅移転事業などを活用しつつ、移転支援を継続してまいります。

あわせて大船渡市急傾斜地崩壊危険箇所図・土石流危険渓流位置図(市ホームページ)↓分類でさがす↓くらしの情報↓防災↓防災啓発・防災訓練↓大船渡市土砂災害危険箇所情報について、住民の皆様と情報共有を図りつつ、河川氾濫と同様にワークショップを通じてながら災害対応を一緒に考えてまいりますので、宜しくお願いいたします。

名医にきく！第2弾

「手遅れになる前に・・・今からできる肺がん予防」講演会

大船渡市は全国に比べ、肺がんで亡くなる人が多いことが課題になっています。肺がん治療の最前線にいるプロの視点から、今からできる肺がん予防についてお伝えします。

▷期日＝9月14日(土)

▷時間＝午前10時～11時(開場午前9時30分)

▷会場＝リアスホール1階マルチスペース

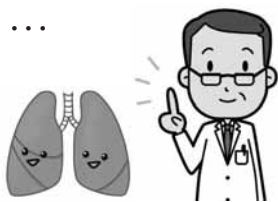
▷対象＝市内在住の人

▷内容＝手遅れになる前に・・・

今からできる肺がん予防

▷講師＝大浦裕之医師

(岩手県立中央病院
医療安全管理部長)



▷定員＝150人

▷参加料＝無料

▷申込方法＝電話、ファクス、Eメール

※ファクス、Eメールは件名を「名医にきく講演会参加」とし、①氏名(フリガナ)②生年月日③電話番号を記載の上申し込みください。

▷その他＝定員になり次第申し込みを締め切ります。

▷申込先/問い合わせ先

健康推進課成人保健係 (☎⑦1581/☎⑦1589/
Eメールアドレス ofu_kenkou@city.ofunato.iwate.jp)

※電話受け付けは平日午前9時～午後5時